



Tis the last rose of Summer

夏の名残りの薔薇

Tis the last rose of Summer,
Left blooming alone;
All her lovely companions
Are faded and gone;
No flower of her kindred,
No rosebud is nigh,
To reflect back her blushes,
Or give sigh for sigh!

I'll not leave thee, thou lone one,
To pine on the stem;
Since the lovely are sleeping,
Go sleep thou with them.
Thus kindly I scatter
Thy leaves o'er the bed
Where thy mates of the garden
Lie scentless and dead.

So soon may I follow,
When friendships decay,
And from Love's shining circle
The gems drop away!
When true hearts lie withered,
And fond ones are flown,
Oh! who would inhabit
This bleak world alone?

それは夏の名残りの薔薇
一人咲き残っている
愛らしい仲間たちは皆
色あせていなくなってしまった
同じ種類の仲間の花はもういない
つぼみも近くにはない
恥じらう薔薇色の頬を思い返せば
ため息をつくばかり

私はおまえを一人寂しくさせはしない
茎の上で衰えさせはしない
愛しい者たちは眠りについているのだから
お前も傍へ行ってお眠り
優しくお前を手折り
花びらをベッドの上に撒き散らそう
庭の仲間たちが
香りも失せ 枯れ果ててしまったベッドに

私もすぐにおまえの元へ行くかもしれない
友情が崩れ去り
愛の輝く輪から
宝石が零れて落ちてゆくとき
真の心が枯れて横たわり
愛しい者たちが去ってしまったとき
ああ 誰が生きてゆけるのだろう
このわびしい世界に ひとりで

How sweet the answer

なんと心地よい答えなのでしょう

How sweet the answer Echo makes
To music at night;
When, rous'd by the lute or horn, she wakes,
And far away, o'er lawns and lakes,
Goes answering light.

Yet love hath echoes truer far,
And far more sweet,
Than e'er beneath the moonlight's star,
Of horn, or lute, or soft guitar,
The songs repeat.

'Tis when the sigh, in youth sincere,
And only then,
The sigh, that's breath'd for one to hear
Is by that one, that only dear,
Breath'd back again.

夜 こだまが音楽へ答えるとき
なんとうっとりと響くものなのでしょう
リュートや角笛によって目覚め
そして遙か遠くへ 草地や湖を越え
軽やかに答えを響かせ渡ってゆく

さらに愛のこだまは純粋で
この上なく甘く美しく
月明かりに照らされた星のもとで
角笛やリュート やわらかなギターの音が
その音を繰り返す

誠実な若者が吐息を洩すとき
そう その時だけなのだ
一人の人に聞いてもらう為に洩す吐息は
愛しいひと ただ一人の愛しい人によってのみ
返されるのだ 幾たびも

しおり型ブックレットについて

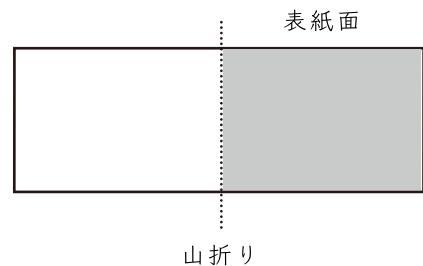


①A4で印刷（2枚ページ目（当ページ）は任意で）

下図のように長い方を山折りに



②表紙面を表にした状態で、下図のように
二つ折りに



当歌詞カード記載の日本語訳は丸谷晶子オリジナルとなります。
個人的利用以外での無断配布、インターネット媒体、メディアへの無断掲載等は
著作権法により禁止されております。

また、楽曲などの著作物を著作権利者の許諾を得ないでディスクに複製（録音）
配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。



楽曲の日本語訳依頼、掲載依頼等は下記 URL よりお問い合わせくださいませ

© 2021 Akiko Marutani <https://musicavalon.com/>

